

令和3年2月吉日

長崎県内の介護支援専門員の皆様へ

日本介護支援専門員協会長崎県支部長
長崎県介護支援専門員協会会長

黒江 直樹
(公印省略)

令和3年度入会申込書の送付及び入会のお願い

日頃は、日本介護支援専門員協会および長崎県介護支援専門員協会の活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

このたび令和元年度の総会での報告以来進めてきた、国・県・市町の組織の一本化について入会申込書を添付のうえご案内をさせていただきます。

本件につきましては、組織強化と介護支援専門員の社会的地位向上を目的に理事会等でも協議を重ね、令和元年8月7日の理事会の議決以降、特別検討委員会での協議、県内全支部をオンラインでつないだキックオフ集会（令和2年8月28日）の開催、正副会長や理事による各地域での説明会の開催などを行い会員の皆様へご理解いただくよう努めてまいりました。

皆様のご協力のおかげで、本会も県内も介護支援専門員の実情を伝え陳情等ができる場を確保する事ができるようになりましたが、さらにこれを強化し制度改正や報酬アップにつなげ、介護支援専門員の社会的地位を向上するためには日本介護支援専門員協会との一本化を図る事が重要と考えております。

また会員の皆様にとっても

- ①日本介護支援専門員協会主催の会員限定のオンラインを含めた研修の参加が可能になる。
- ②会員の声を国に届ける機会が増えるとともに発言力があがる。
- ③制度改正等の新しい情報がリアルタイムで届くようになる。

など環境もより良くなるものと考えています。

制度改正等を動かす時には、様々な関係機関や団体との連携する際も数の力は必要であり、少しでも多くの介護支援専門員の皆様に入会いただく事が重要です。政治や行政に対しても同じ事が言えると考えております。介護支援専門員の社会的存在意義の向上とそれに見合う対価の獲得こそ、この一本化を実施する意義ととらえております。

どうか今回の一本化についての主旨をご賛同いただき、多くの県内の介護支援専門員の皆様にご入会いただきますようお願いいたします。